



開倫ユネスコ協会
NewsLetter

第 1 3 2 号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2019年10月10日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

関東ブロックユネスコ活動研究会 in 埼玉

2019年10月5日(土)～6日(日)、蓮田市総合文化会館において『関東ブロックユネスコ活動研究会 in 埼玉 (蓮田・白岡)』が開催されました。

当日は、快晴に恵まれ、最高のユネスコ日和となりました。開会式次第に沿って、開会宣言・主催者挨拶・来賓祝辞(埼玉県教育委員会教育長・蓮田市市長・白岡市市長)と順調に進み、オープニングイベントでは、蓮田中学校吹奏楽部による見事な演奏が披露されました。

開倫ユネスコ協会は、第3分科会(ユネスコ活動の活性化と会員増に向けて)において、林明夫会長より、「世界哲学の日」のタイトルで、発表がありました。パリのユネスコ本部では、毎年11月の第3木曜日の日を「ユネスコ哲学の日」と定めています。発足当時より、足利市で開催していましたが、3年前より、開倫ユネスコ協会の会員だけでなく、広く皆様に知って頂きたいとの思いで、東京で開催させて頂いております。スプリングユネスコクラブ、伊豆ユネスコクラブと共催で「今哲学しよう-価値・意味・秩序-」を統一テーマとして記念講演が開催されました。開倫ユネスコ協会では、これからも、ドッジボール大会・文芸大賞・平和の鐘を鳴らそう運動・世界哲学の日等々継続した活動を広めていきたいと思えます。



第3分科会で発表する林会長



2019年関東ブロックユネスコ活動研究会開会式

著書紹介 日本ユネスコ協会連盟顧問

「ユネスコと歩いた50年」 野口昇 著

野口先生が、国際協力や多様性・国際協調について文部科学省や国連職員として、ユネスコとのかかわりを、本にしました。皆が、ユネスコの理念をしっかりと胸にきざんで行く為にも、是非この本をお読み下さい。元ユネスコ本部事務局長松浦 晃一郎氏もお勧めをしております。



野口氏 著書

2019年度 平和の鐘を鳴らそう運動

国連総会は西暦2000年を「平和の文化国際年」と決めました。

ユネスコは、この「平和の文化国際年」を推進する中心的役割を担っております。日本ユネスコ協会連盟は、国際年の意義を広く伝え、人々の中にある“平和の祈りと願い”を大きな力へと結集していくために、「わたしの平和宣言」と「平和の鐘（かね・おと）を鳴らそう運動」を継続実施しております。

開倫ユネスコ協会では、8月10日～8月15日で「平和の鐘を鳴らそう運動」を実施致しました。当日約143名（学生130名・大人13名）参加者があり、「わたしの平和宣言」を読み上げ、思い思いに音を鳴らしました。



鐘を突き平和を祈る参加者

平和宣言文

1. 「すべての人の生命を大切にします」
2. 「どんな暴力も許しません」
3. 「思いやりの心を持ち、助け合います」
4. 「相手の立場に立って考えます」
5. 「かけがえのない地球環境を守ります」
6. 「みんなで力をあわせます」

開倫ユネスコ協会は、2001年1月27日に日本ユネスコ協会連盟より正式に承認されて以来順調に活動を続けて参りました。当協会では、随時会員を募集しております。詳しくは、下記事務局までよろしくお願いたします。

電話 0284-72-5915